



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

3月号 MAR 2019

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

JFS-A規格 認証監査が実施されました

2019年2月27日にJFS-A規格の認証監査がマルト商事の三芳工場及び所沢アップセンターにて行われました。JFS規格とは一般社団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）が食品安全管理の規格として構築したものです。

マルト商事では昨年9月より食品安全チームを選任し、メンバーが中心となり認証取得に全社で取り組んできました。お客様、そしてお客様のその先のお客様に、より一層ご安心頂ける商品づくりを行うことが目的です。

今回マルト商事の2工場で認証取得を目指しています。剥き玉葱の製造工場としては全国初のJFS認証取得となるそうです。

監査は2名の監査員の方により入念に実施されました。工場自体の監査から始まり、重要管理点などのヒヤリング、実施している管理の内容等がJFS-A規格に準じているかのチェック等々。9時より18時までみっちり行われました。これまで中心となってきたマルト商事食品安全チームの面々も緊張の面持ちの中ではありましたが、マルト商事で行われている食品安全への取り組み、思いを監査員の方へ説明をしておりました。

認証結果は…審査から認証許可までに1カ月ほどかかるとのこと。結果がでましたらこの場でご報告をさせていただきます。監査の最後に監査後会議という時間があり、監査員の方の所感や、是正勧告などが行われる場がありました。マルト商事は両工場とも大きな是正勧告もなく、お褒めのお言葉を頂きました。メンバーを中心にお客様へ安全な商品を提供していくという熱意がそのような結果につながったのだと思います。

国の方針からも、食品安全についての世間の関心は益々高まってくるものと思っています。弊社は青果物の1次加工業者であり、剥き玉葱はそもそも食品の扱いではなく生鮮野菜の管轄です。実際、弊社工場も保健所の管轄外の業態です。工場にコストをかけて設備したり、時間とお金をかけて食品安全の認証などとする必要はないのかもしれませんが、しかしながらマルト商事では、「最終的に生活者が口に入れる商品を提供させていただいている」という責任を、従業員一同しっかりと受け止めて、お客様により安全な、剥き玉葱を中心とした青果物をお届けできるように努めて参りたいと考えています。関わる人をHAPPYに。マルト商事の安全な商品を通じてHAPPYをお届けしたいと思います。

佐賀県JAからつ様訪問

2月22日、23日と弊社契約産地の佐賀県JAからつ様を訪問し、今期の玉葱生育状況のヒヤリング、圃場視察を行ってきました。

昨年は佐賀県全体としてはまずまずの出来ではあったのですが、からつ地区では生育があまり良くない状況となり、小玉傾向。更に軟腐病が大発生し、品質面が非常に悪い状態が続きました。

昨年の反省から今期は徹底した防除体制をとること、並びに選別体制を再度見直しして悪い商品が出荷されない仕組みをしっかりと稼働させるようにすること。お互いに確認しました。

設備面でも品質保持のため、原料保管庫に最新冷蔵設備を導入しています。

ここ数年は、品質・量、両面でご迷惑をおかけしてきましたが、本年度は産地と一体となり必ずや皆様にお褒めいただける商品を提供できるように努めて参ります。随時状況を報告して参ります。



“食”の分野で役立つマーケティング情報

最近、仕事で大阪に行く機会がありました。道頓堀は外国人観光客がいっぱいで、万博の開催も決まったこともあり大阪はとても活気があるように感じられました。その大阪で、2018年12月に発表された大阪メトロの駅リニューアル計画が、未だに大きな波紋を呼んでいます。「地下空間の大規模改革」をコンセプトに、御堂筋線9駅と中央線6駅の大胆なリニューアルする計画で、各駅のイメージ画像が公開されています。私も見ましたが、正直「これは、いったい??」というのが率直な感想でした。なかでも物御堂筋線の心斎橋駅は、緑やピンクの原色ベースのデザインがかなりのインパクトで、地元では「悪趣味」という声もあり、反対署名も続々と集まっているそうです。

番組名は忘れましたが民放の朝の情報番組で、この駅のデザインを銀座で歩いている人に見せてその感想を聞くという場面がありました。ただし、これがどこの駅かを伝えずに。全員の感想は大阪の人と同じでしたが、この駅が大阪での計画であるということ伝えると、反応が変わり納得している様子がとてもおかしかったです。大阪はそういうイメージなんだと妙に納得しました（ちなみに私は大阪生まれです）。おそらくこの場面で最初にこの駅のデザインイメージを見せられたとき、インタビューを受けた人はそれを“自分の駅”と想像し、大阪での話と聞かされた後は“自分とは関係ない話”として考えたのだと思います。このデザインを考えた人も、もしかしたら大阪の人ではなく、“自分の駅（こと）”として考えたわけではないのかもしれませんが。

ハーバード・ビジネススクール教授のフランチェスカ・ジーノ氏によれば、仕事を「自分ごと化」して捉えてもらうことで、働くことに対する会社に対する満足度や幸福度が増し、仕事の成果が向上するという相関関係が見られるとのこと。従業員の生産性も上げることができるそうです。「自分ごと化」とは、当事者意識を持ってすべて自己責任で捉え、自分で考えて仕事に取り組めるかということです。さらにマッキンゼー・アンド・カンパニーのディレクターであるスコット・ケラー氏の記事では、「自分ごと化」という当事者意識によってチームの士気が5倍にもなるということが書かれています。

このように仕事を「自分ごと化」してもらうことは企業・組織にとって理想的ですが、それをするのは簡単なことではなく、できている人が少ないのが現状のような気がします。仕事とプライベートを切り離して考えている人は多く、マネジメントする側も仕事上での人格のみを重視しがちです。しかし、仕事もプライベートも人生には欠かすことができません。むしろ仕事のほうが多くの時間を占めているときだって多々あります。仕事を通じて形成される将来像をイメージしてもらい、仕事は自分のプライベートも含めた人生を充実させるための大事な一部であり、仕事は「自分ごと」であることを理解してもらうことができれば、企業にとっても大きな利益になるはず。今回はもう少し掘り下げて考えてみたいと思います。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。

<http://www.kino-company.com>

3月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	皮むけが多くなってきています 品位が若干落ちています
輸入黄玉葱	USA	品位は安定しています。
中国剥き玉葱	甘肅省	品位安定しています。サイズも揃いがいいです。
国産赤玉葱	北海道	品位が落ちてきています。加工に注意致します。
輸入赤玉葱	USA	品位安定しています。サイズも揃いがいいです。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315